

## 新潟インキュベーションファンド1号の 投資先第2号を決定 ～ 株式会社開成への出資 ～

新潟ベンチャーキャピタル株式会社（代表取締役：田中富士雄）は、株式会社開成（農産物・加工品製造販売、村上市）（注1）について、新潟インキュベーションファンド1号（注2）の投資先とすることに決定し、6月30日に3,000万円の出資を行った。

### 1 投資先の概要

株式会社開成は、村上市で農産物・加工品の製造販売を行っている会社である。同社は村上市瀬波温泉の温泉余熱を利用し、寒冷地新潟においてハウスでの南国フルーツ栽培に成功するなど、農業分野において独自の取組を行ってきた。

現在、同社は、ドイツ製のバイオマス処理プラントを導入し、食品残渣等から発生するメタンガスを利用した発電とガスボイラーによる温熱の農業利用等を通じ、南国フルーツをはじめとした農産物のハウス栽培を行うことを計画している。

また、今後は本システムを、同社による農業コンサルティングと合わせて「バイオマスプラントを利用した循環型農業システム」（注3）として、他社・自治体等へ販売活動を展開していく方針である。

### 2 投資決定のポイント

株式会社開成は、南国にしか育たないフルーツの栽培を寒冷地でも行うことに成功するなど独自の農業ノウハウを有しており、農作物の品種改良を含め、農業とバイオマスシステムとの融合の模範となることが期待できる。また、同社が構築するシステムについて、外販も行うビジネスモデルとなっており、すでに、本システムと同様の案件での商談が進行している。

これらのことから、新潟ベンチャーキャピタルは、今後同社の売上拡大が見込まれると判断し、新潟インキュベーションファンドの投資先とすることを決定した。

なお、今回の投資資金は、バイオマスプラントの建設・導入費用の一部及び初期運営費用に充当される。

### 3 今後の活動

株式会社開成は、国内303地域のバイオマスタウン構想取得自治体及び民間廃棄物処理事業者、食品加工事業者などをターゲットとして営業活動を展開中であり、将来的には2016年度以降の株式公開を目標としている。

新潟ベンチャーキャピタル株式会社は、人材の紹介、営業面での支援、外部からの資金調達において、ハンズオン支援を図っていく予定である。

#### 【お問い合わせ先】

新潟ベンチャーキャピタル株式会社

担当：近藤

TEL/FAX: 025-250-6306

## 注 1 株式会社開成の概要

- 会社名：株式会社開成
- 所在地：新潟県村上市宿田1198番地1
- 設立：1999年6月
- 役員：代表取締役社長 遠山 忠宏  
専務取締役 遠山 貴志子  
取締役 板垣 典江
- 資本金：15百万円（増資前）
- URL：<http://www.kaisei999.com>

## 注 2 新潟インキュベーションファンド1号の概要

- ファンドの名称：新潟インキュベーションファンド1号投資事業有限責任組合
- 無限責任組合員：新潟ベンチャーキャピタル株式会社
- 投資対象：原則、新潟県内に本店を置くアーリーステージのベンチャー企業に投資。ただし、県外本店企業でも、県内経済に大きな影響を有する企業に対しては、投資を検討する。
- 根拠法規：投資事業有限責任組合法
- 目標募集総額：1,000百万円を予定  
(新潟県からの資金500百万円を含む)
- 募集期間：平成23年9月30日までの出資金払込
- 運用期間：平成22年7月から平成32年6月までの期間  
ただし、無限責任組合員、有限責任組合員双方の同意により2年延長可能

私共が推進する「再生エネルギー利用循環型社会（農業）」の形成モデル

